

### 3 方針（案）

#### 第3案（完全民営化）としてはどうか。

##### 【理由】

- 将来にわたって利用者の減少が見込まれる中、西能美航路を維持していくためには、一層の経費削減が避けられないが、このためには、三高航路及び中町・高田航路を一体的に運営することによる合理化・効率化を進める必要がある。
- また、航路の存続のためには、江田島市だけでなく、県や周辺自治体と連携・協力した持続可能な支援体制を構築していくことが望まれる。県では平成23年度から県内の生活航路を対象とした補助制度（生活航路維持確保対策事業補助金）を設けており、江田島市でも4航路（宇品～三高、宇品～切串、宇品～小用、呉～小用）が対象となっている。しかし、中町・高田航路は現状のままでは県の補助の対象となる可能性は低い。
- さらに、市営船の経営改善については、人件費の面等で制約があり、今後とも収支の改善が図られる見通しが立たない。
- 公設民営方式については、中町・高田航路に対して市が関与できる余地が残るというメリットはあるが、民間事業者単独による収支が見込まれる中で公的な支援策を講じることは、他の航路事業者との均衡を失することとなる。